

下町三昧

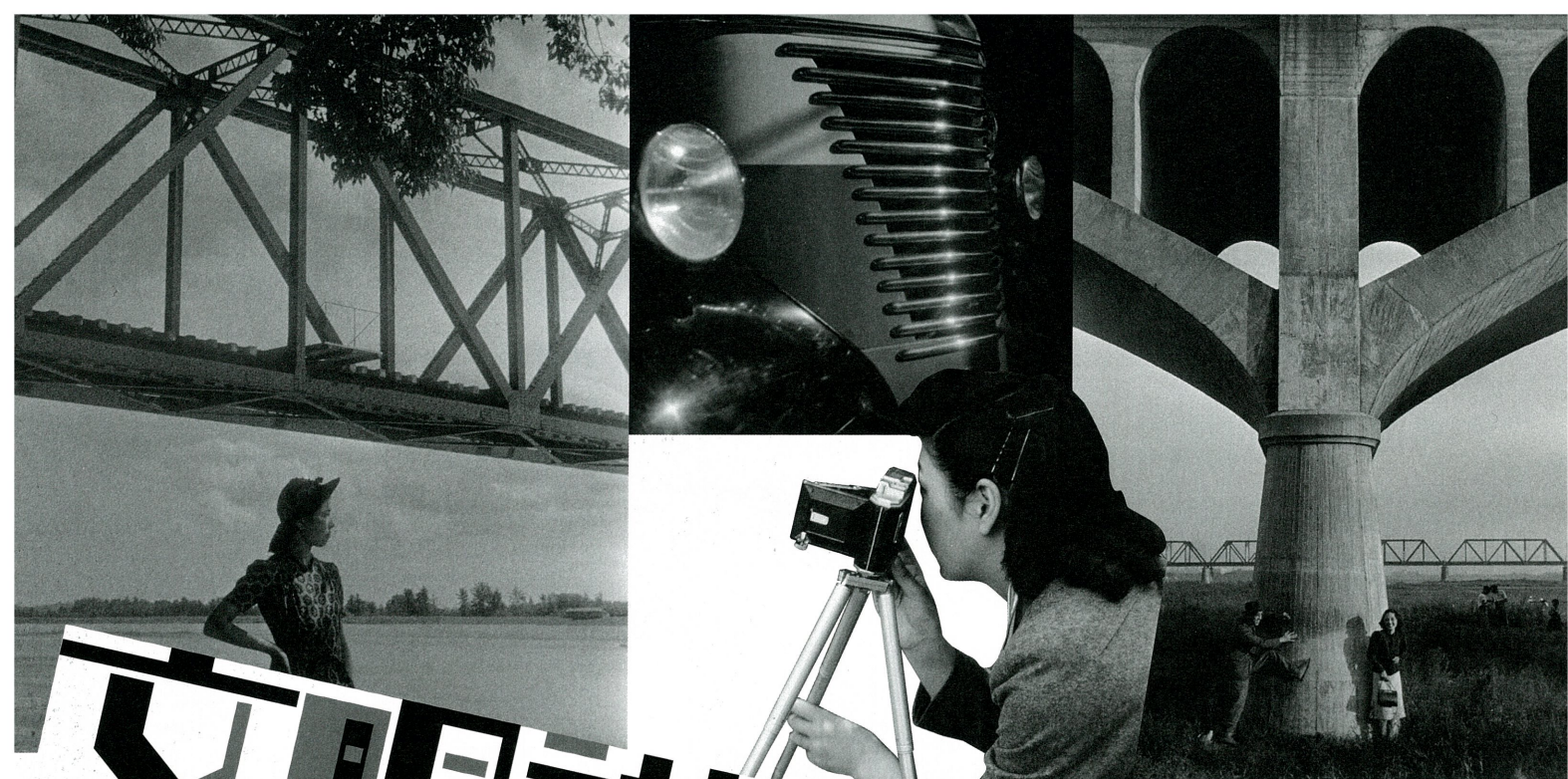
新世田谷区立図書館

2009.4.1wed-126500

世田谷美術館分館 清川泰次記念書庫

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202

開館時間=10時~18時(入館は17時30分まで) 休館日=毎週月曜日(ただし
休日と重なった場合は翌日)、5月7日(木)は休館 観覧料=一般200円
(160円)、大学生150円(120円)、中学生100円(80円) ※ ()内は20名以
上の団体料金。小・中学生は土・日・祝日無料。
※障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害
者1名につき、1名に限
る)は無料。



人々の讃歌

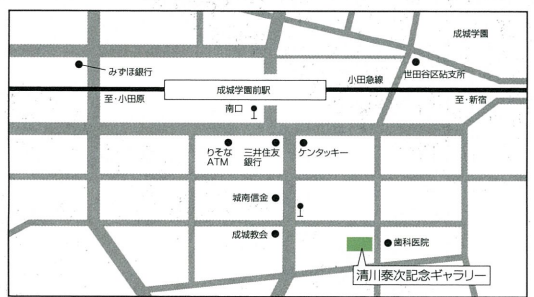
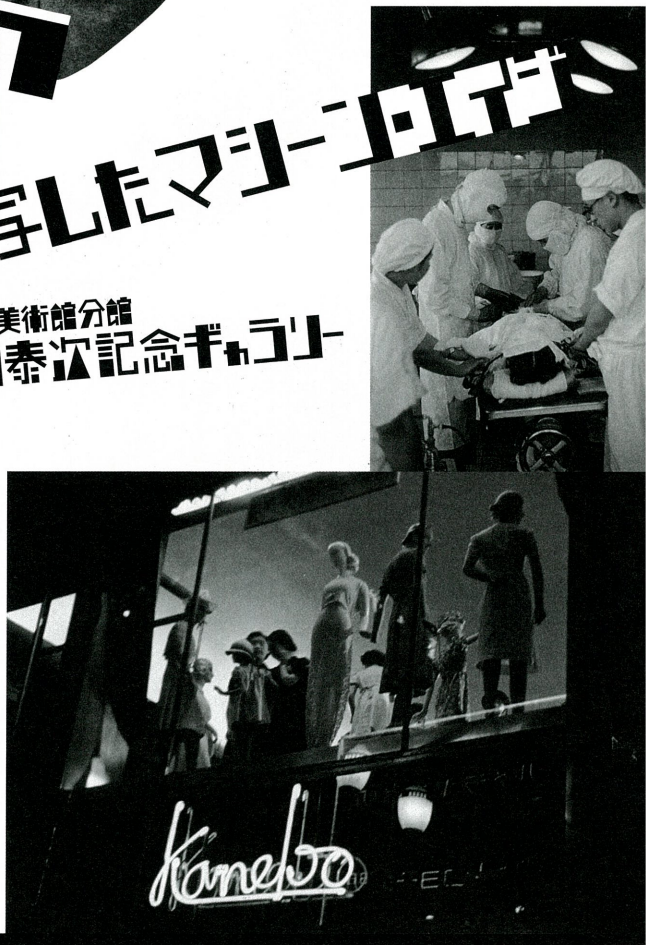
清川泰次が写したマシーニョ

2009.4.1 WED - 7.26 SUN

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

輝かしい未来が機械文明と共にあると 信じられた時代へ捧げられた、青年からの讃歌

戦後に洋画家として活躍する清川泰次 (1919-2000) が写真趣味に没頭して青春を過ごした1930年代は、機械文明が人間に対して全肯定的に受容されていた時代とも言えるでしょう。軍国主義への傾倒や関東大震災などの災害からの復旧に合わせて次々と整備されていく交通網や建造物などのインフラストラクチャーは、不穏な空気に包まれつつあった国民生活が近代資本主義の産物によって好転しようのだからという種の熱狂を呼び起こし、人々に受容されていきます。イタリアの未来派やドイツの新唯物主義がそうであったように、若き日の清川泰次もそうした未知の感覚を好意的に受け入れながら、カメラで積極的に文明の産物をとどめていきました。本展は、清川が大学生時代に写した昭和10年代の機械文明の象徴たる都市や人々の営みの貴重な写真を展示し、当時の大衆生活と機械文明の在り方を検証するものです。



世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー
〒157-0066 世田谷区成城2-22-17 TEL 03 (3416) 1202
交通 小田急線「成城学園前」駅 南口徒歩3分 www.kiyokawataiji-annex.jp

《本館情報》
世田谷美術館
〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL 03 (3415) 6011 (代)

企画展 特別展『平泉～みちのくの浄土～』
2009年3月14日(土)→4月19日(日)

『日本の自画像』写真が描く戦後 1945-1964
2009年5月2日(土)→6月21日(日)

収蔵品展『人々のものがたりPartI「人のかたち、人の想い」』
2009年5月1日(日)→7月12日(日)

『人々のものがたりPartII
「利根山光人とマヤ・アステカの拓本」』
2009年7月16日(木)→9月11日(金)

《分館情報》会期 2009年4月1日(水)→7月26日(日)

宮本三郎記念美術館
〒158-0083 世田谷区奥沢5-38-13 TEL 03 (5483) 3836
www.miyamotosaburo-annex.jp

『宮本三郎と昭和の婦人誌—女性美を求めて—』

お詫びとお知らせ「向井潤吉アトリエ工事事休館」
向井潤吉アトリエ館は、耐震調査の結果、耐震化工事が必要となりました。今後も皆様に安全にご利用いただくため、急ぎよ、平成21年(2009)3月16日(月)より、当分の期間、休館することになりました。皆様にご迷惑をおかけすることを、心よりお詫び申し上げます。どうぞ、ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

工事期間や再開の時期については、決定次第、「情報ガイド」(せたがや文化財団情報紙/毎月25日発行)、ホームページなどでお知らせいたします。今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願いたします。